森戸川中沢遡行(2016/8/6)

参加者：前田、石井、関口

コースタイム：逗子葉山駅南口 8:56⇒9:46 古墳横ブランコ休憩地 9:50⇒11:02 林道終点 11:12⇒12:10 伏流カ所 12:17⇒12:41 東尾根 35 番⇒12:49 36 号鉄塔(昼食)13:08⇒14:06 林道終点 14:15⇒15:19 笠原商店

☆距離：17.1km、△741m、▽732m、6 時間 22 分

逗子葉山駅から歩き始める。長柄桜山古墳への上り道の手前で道路工事中の所があり、避けて左に進んだが、行き止まり。元に戻って工事中の個所を通過、しばらくして右に上り道を見つける。２号墳の手前で尾根道に入り１号墳を右に見ながらブランコのある休憩地へ。いつの間にかブランコが３つに増えていた。江の島は良く見えたが、富士山は雲に隠れていた。住宅街を下り、県道を横切って森戸川林道へ。林道で会ったのは鳥の撮影しているグループだけだった。



林道終点で私は地下足袋に履き替える。前田さん、関口さんは逗子葉山駅から地下足袋だ。中沢にはそれなりに水が流れている。時折木が倒れている所に出くわすが特に問題なく最初は快適な遡行。うなぎ淵ともう１か所１メートルくらいの岩の段差を上る。次第に倒木や蔓に行く手を阻まれるようになり、沢の横に巻き道のピンクテープが出てくるが、まだまだ進めると後方からリーダーの声。藪・倒木がさらに狭くなり、それに蜘蛛の巣の攻撃が加わる。倒木を跨ぎながら、上の枝との間をすり抜けた時、シャツの首周りに引っかけていたサングラスが無いのに気がつく。少し戻って探したが濁った水や倒木で見つけられなかった。ほどなく左に沢に沿った踏み跡に上がった。もう少しの所でなくしてしまったようだ。一旦は沢筋を戻ったが、かなり草で茂った踏み跡を辿ると東尾根の 35 番に出た。中沢で藪漕ぎを充分楽しんだので、南沢下降は止めて二子山方面に進むことにした。腹も減っていたので 36 番鉄塔の下で昼食をとった。





今日の最終目的地は笠原商店なので、田浦方面には下りず、馬頭観音を通って、二子山手前から中沢と北沢の合流点に下り、林道終点から森戸川の林道ゲートに戻った。沢筋や尾根筋では直射日光を浴びる事は無かったが、住宅地のアスファルトの道は照り返しで暑かった。生ビールの旗がはためく笠原商店に入り、生ビールを注文すると、３人とも地下足袋姿の汗まみれなので、そこの建築現場の人か、と尋ねられた。葦簀の中の縁台に座り生ビールで乾いた喉を潤す。至福の時だ。今回は此処で汗と蜘蛛の巣と小枝の引っかかったシャツ・パンツを着替え、アプローチシューズに履き替えさせてもらった。今日も楽しい三浦アルプス沢歩きだった。



（記録＆写真：石井）

小下沢（沢歩き入門）

山行日　８月１６日（日）
天気：曇り時々晴れ
参加者：鹿又（L)、高橋、関口、大原
コース：高尾駅８：１２⇒大下バス停８：３０→小下沢梅林８：３８→
　　８：４５入渓ポイント９：００→１０：５１小下沢登山口（昼食、着替）
　　１１：３８→小下沢梅林１２：１１→日影バス停１２：２２

暑い時期は沢歩きが最適と思いお盆時期に平日休日の２回企画した沢歩きだが、台風と台風後の不順な天候に見舞われ平日分は中止に、休日分は何とか開催に漕ぎつけたが連日の降水で増水が心配された山行となった。

大下バス停で降りたのは我々だけだったが、手前の日影バス停で降りた団体が前方を歩いている、これ幸いと先に行かせて露払いをして頂く作戦で後をゆっくり付いていく。小下沢梅林を過ぎるとすぐに入渓ポイントに着く、沢装備を整え作戦通り団体が先に入渓して行った後を追う、沢は心配していた通りかなり増水しているが濁りは無く歩けそうなので途中で戻ることも視野に進むこととする、小下沢は林道が並行しているためエスケープが容易なのだ。

少し歩くが増水のため抵抗が大きく歩きづらい、初心者向けの沢ではあるが難易度はアップしていた、先に入渓した団体も初心者が多く難儀しておりすぐ追いついてしまったので先に行かせていただく。

小下沢登山口に到着するころには皆既に沢歩きに満足していたため予定より手前ではあるがここで戻ることにし、森の家前にテーブルとベンチがあるのでそこで昼食タイムを取り濡れた沢装備から着替えて下山開始。

涼しく汗もかかないねなどと言いながら下山していたが、最後に登りがあるのを忘れていた、沢沿いから離れ日当たりも良好なので最後に一汗掻いてしまった。

バスで高尾駅まで戻り関口さんの行きつけの中華で反省会、良き一日だった。





（記録＆写真：鹿又）